

平成 29 年度生理学研究所研究会
「先天的と後天的なメカニズムの融合による情動・行動の理解と制御」

2017 年 10 月 10 日（火）13:00 ～ 10 月 11 日（水）12:30

生理学研究所（明大寺地区）1 階大会議室

代表者： 小早川 高（関西医科大学 生命医学研究所）

所内世話人：鍋倉淳一（生理学研究所 生体恒常性発達研究部門）

10 月 10 日（火）

- | | |
|-------------|---|
| 13:00-13:10 | 開会のあいさつ |
| 13:10-13:40 | 先天的と後天的な嗅覚情報の意味判断と統合処理メカニズム
小早川 高（関西医科大学・附属生命学研究所） |
| 13:40-14:10 | ゼブラフィッシュの情動行動を司る嗅覚神経回路メカニズム
吉原 良浩（理化学研究所・脳科学総合研究センター） |
| 14:10-14:40 | レム睡眠の意義とメカニズム～遺伝学・発生学からのアプローチ～
林 悠（筑波大学・国際統合睡眠医科学研究機構） |
| 14:40-15:00 | ブレーク |
| 15:00-15:30 | 知覚記憶の定着に関わる皮質間回路活動
村山 正宜（理化学研究所・脳科学総合研究センター） |
| 15:30-16:00 | 情動（とヒトが呼ぶ機能）の生物学的な意義とその起源
加藤 総夫（東京慈恵会医科大学・神経科学研究部） |
| 16:00-16:30 | 意思決定行動の神経メカニズムの解明における情動の計測の試み
中村 加枝（関西医科大学・医学部） |
| 16:30-16:50 | ブレーク |

- 16:50-17:20 ストレス抵抗性とその破綻を司る内側前頭前皮質神経回路の再編成
 古屋敷 智之（神戸大学・医学部）
- 17:20-17:50 化学走性行動の先天的な機構と後天的な変化
 飯野 雄一（東京大学・理学系研究科生物科学専攻）
- 17:50-18:20 自由行動するショウジョウバエにおける発光イメージングが拓く
 個体間コミュニケーションの神経機構の研究
 風間 北斗（理化学研究所・脳科学総合研究センター）
- 18:30- 情報交換会

10月11日（水）

- 9:00-9:30 高脂肪食摂取による不安レベル上昇を抑制する生体機構
 関口 正幸（国立精神・神経医療研究センター）
- 9:30-10:00 意思決定のための（線虫の）感覚情報演算メカニズム
 木村 幸太郎（大阪大学・理学部・生物科学科）
- 10:00-10:30 線虫における嗅覚記憶の忘却とその制御
 石原 健（九州大学・理学研究院・生物科学専攻）
- 10:30-10:50 ブレーク
- 10:50-11:20 Early auditory experiences shape neuronal circuit to
 form auditory memory in zebra finch song learnig
 杉山 陽子（沖縄科学技術大学院大学）
- 11:20-11:50 情動行動における大脳基底核神経回路機構とその破綻
 疋田 貴俊（大阪大学・蛋白質研究所）
- 11:50-12:20 情動と覚醒系の相互作用におけるオレキシン系の役割
 櫻井 武（筑波大学・国際統合睡眠医科学研究機構）
- 12:20-12:30 閉会のあいさつ